

2016年3月期 第2四半期 決算説明会

2015年 11月16日
戸田建設株式会社

本資料には、当社及び当社グループの将来についての計画、戦略、業績の予測に関する記述が含まれています。

これらの記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が予測したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により、実際の業績または展開は、記述されているものと異なる可能性があることをご承知おきください。

本日の内容

1. 決算説明

- 管理本部長 鞠谷 祐士

2. 経営計画の進捗状況

- 代表取締役社長 今井 雅則

1. 決算説明

管理本部長 鞠谷 祐士

1-1. 決算概要

決算のポイント

■ 連結売上高 2,184億円 (前期比+16.3%)

： 当社における完成工事高が増加したことにより、前期比16.3%増加の2,184億円となった。

■ 営業利益 109億円 (前期比+61.5%)

： 完成工事総利益の向上が寄与し、営業利益は前期比61.5%増加の109億円となった。

■ 建設受注高（個別） 1,674億円 (前期比▲24.2%)

： 建築は官公庁、民間工事共に減少し前期比▲24.3%となった。土木は官公庁工事において前期に大型工事を受注した影響から前期比▲24.0%となった。

決算概要

単位：億円	2015/3期 第2四半期	2016/3期 第2四半期			
		期初予測	実績	前期比	予測との差異
連結売上高	1,878	2,000	2,184	16.3%	184
営業利益	68	45	109	61.5%	64
経常利益	76	52	119	56.2%	67
親会社株主に帰属 する四半期純利益	79	46	113	42.5%	67
建設受注高 (個別)	2,209	1,600	1,674	▲24.2%	74

主な受注工事

	発注者	工事名
建築	桑名市総合医療センター	桑名市総合医療センター
	兵庫県	新粒子線治療施設
	東洋大学	赤羽台キャンパス新校舎
	オリックス、サンケイビル	山王プロジェクト
	岩手県釜石市	釜石市民ホール
土木	環境省	平成27年度浪江町除染等
	宮城県	津谷川外河川災害復旧
	中国地方整備局	長門俵山道路大寧寺第1トンネル
	ユーラス伊達黄金風力	ウインドファーム

主な完成工事

	発注者	工事名
建築	獨協学園	獨協医科大学教職員宿舎
	長崎田手原ソーラー	長崎メガソーラー発電所
	旭酒造	酒蔵新設工事
	麻布獣医学園	新5号館・新食堂等建築
	明星食品	東日本明星埼玉工場増築
土木	東北地方整備局	国道45号 矢本石巻道路下部工
	高知市	江ノ口雨水貯留管築造工事
	近畿地方整備局	第二阪和国道大谷西地区改良
	近畿地方整備局	和歌山岬道路 平井トンネル

1-2. 決算詳細説明

【連結】グループの状況

事業		国内子会社	海外子会社	14社
建設	建築	<p>(株)アペックエンジニアリング</p> <p>千代田建工(株)</p>	<p>ブラジル戸田建設(株)</p> <p>戸田建設工程(上海)有限公司</p> <p>タイ戸田建設(株)</p> <p>ベトナム戸田建設(有)</p> <p>戸田フィリピン(株) ABTD(株)</p>	8社
	土木	<p>戸田道路(株)</p>		1社
不動産		<p>戸田ビルパートナーズ(株)</p>	<p>アメリカ戸田建設(株)</p>	2社
その他		<p>戸田ファイナンス(株)</p> <p>千代田スタッフサービス(株)</p> <p>東和観光開発(株)</p>		3社

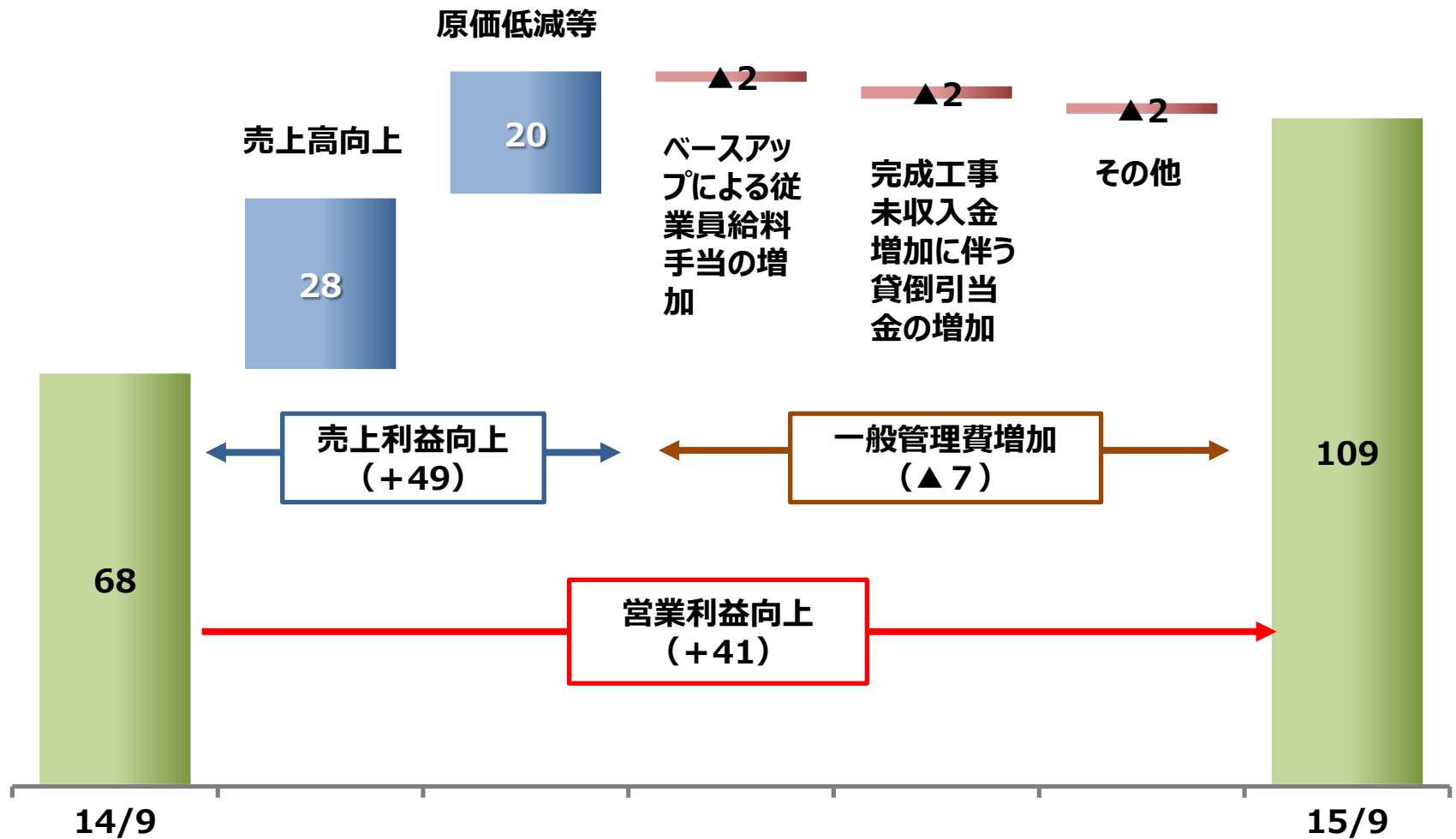
【連結】グループ業績概況

2015/9 単位：億円	戸田建設		子会社計		連結		連単 倍率
		利益率		利益率		利益率	
売上高	2,052		217		2,184		1.06
売上総利益	212	10.4	13	6.4	225	10.3	1.06
一般管理費	102		13		115		
営業利益	109	5.4	0	0.1	109	5.0	1.00
営業外収支	8		1		9		
経常利益	118	5.8	1	0.8	119	5.5	1.01
特別損益	6		0		7		
税引前当期純利益	124		2		126		
法人税等	13		▲0		13		
四半期純利益	110	5.4	2	1.3	113	5.2	1.02

※利益率の単位：%

【連結】営業利益 増減要因

(単位：億円)

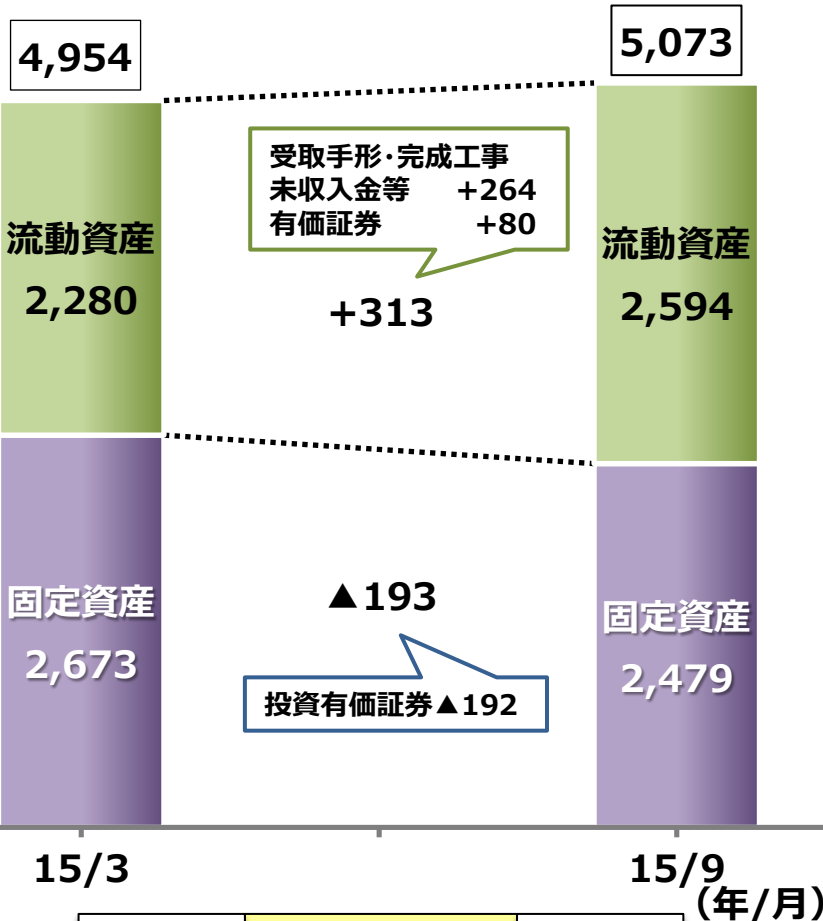


【連結】貸借対照表

資産の部

(億円)

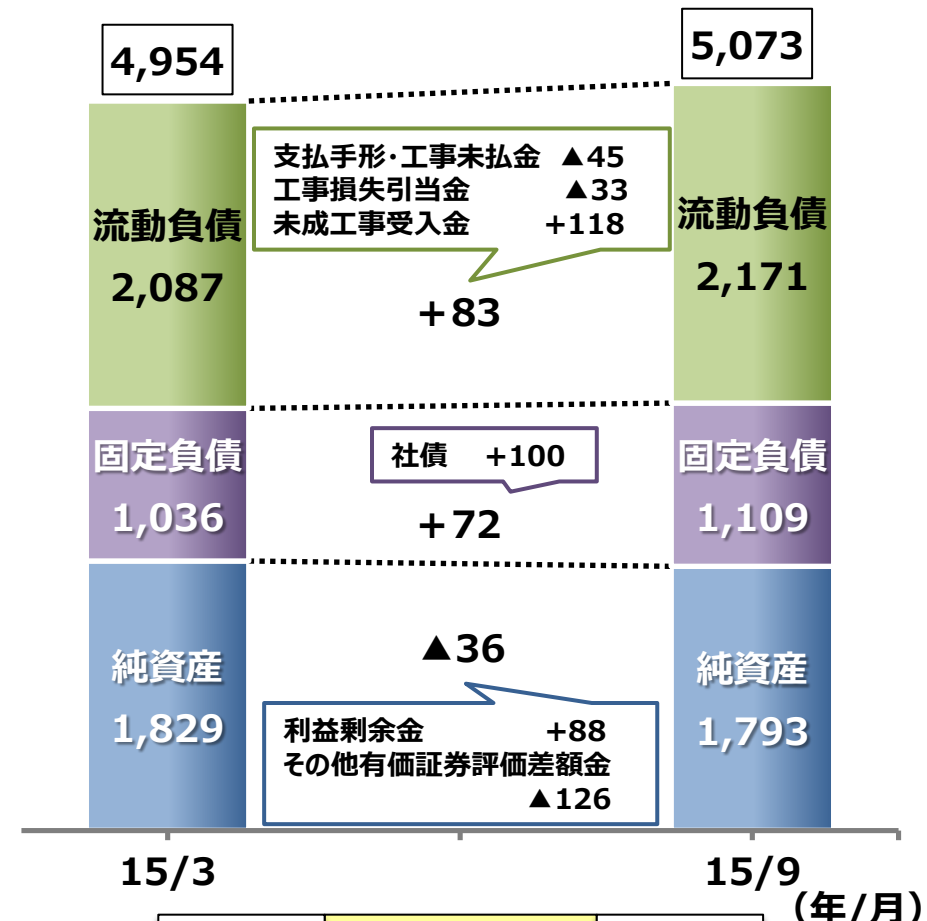
+119



負債・純資産の部

(億円)

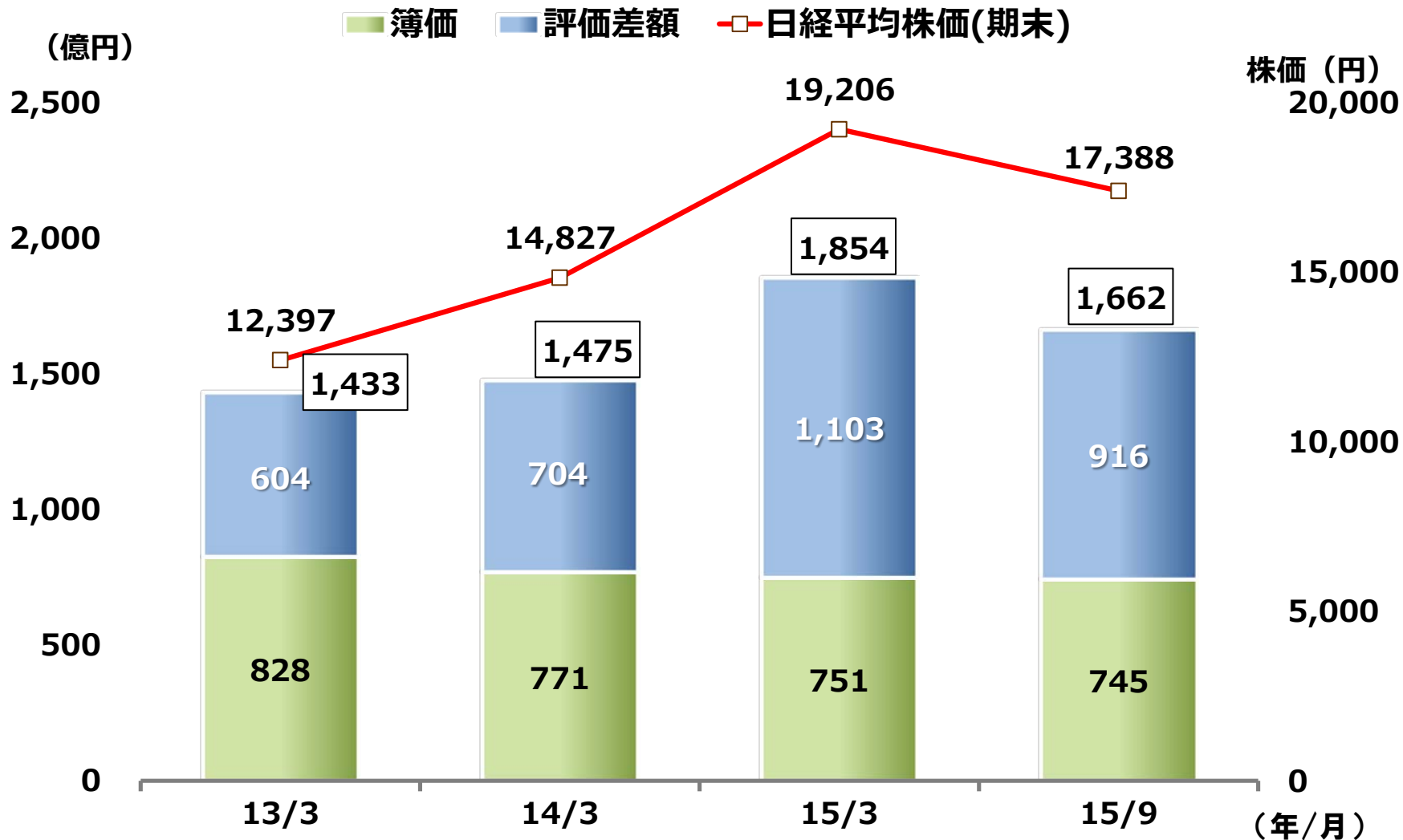
+119



119.4% **流動比率** 135.9%

36.4% **自己資本比率** 34.9%

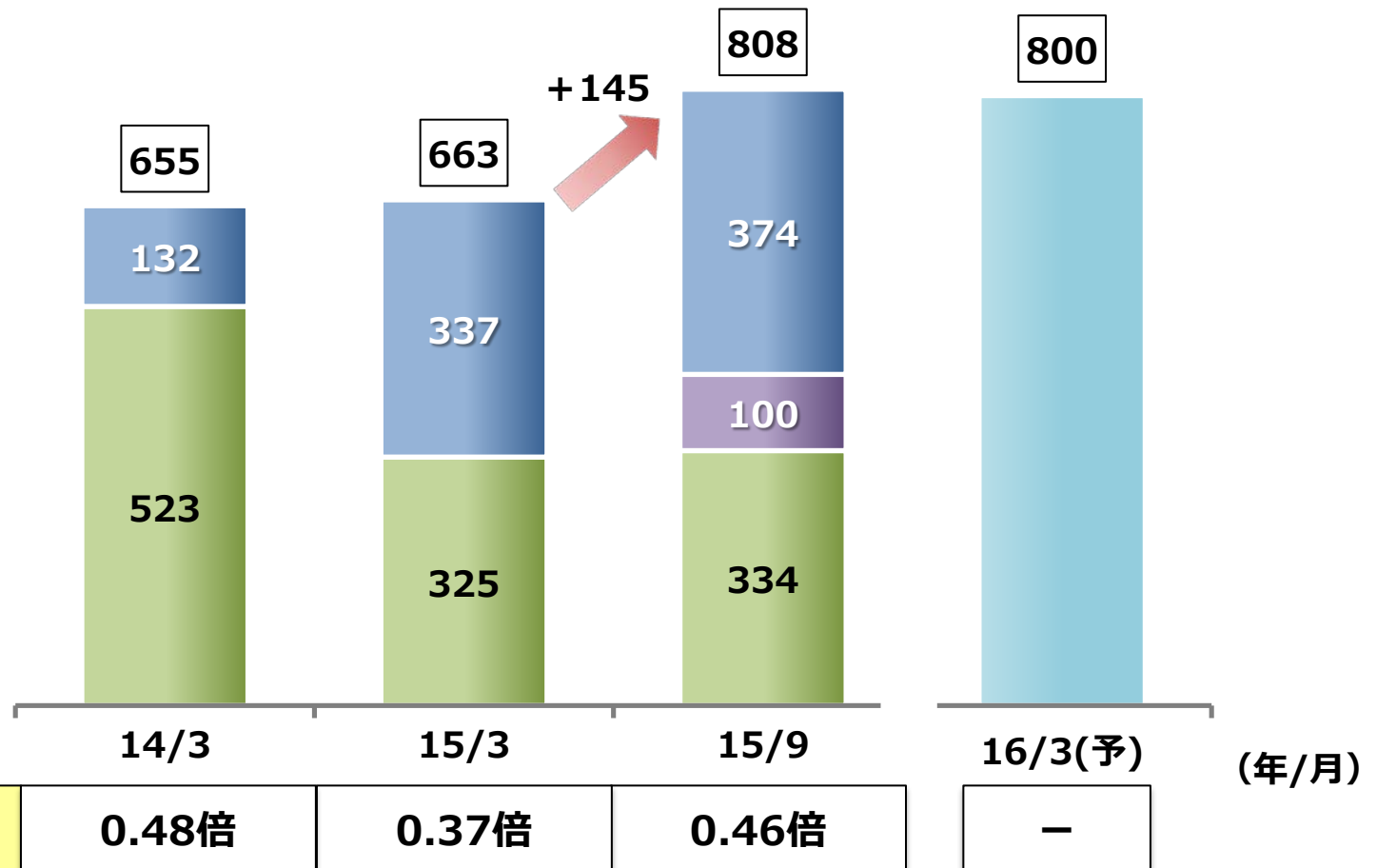
【連結】投資有価証券の推移



【連結】有利子負債の推移

(単位：億円)

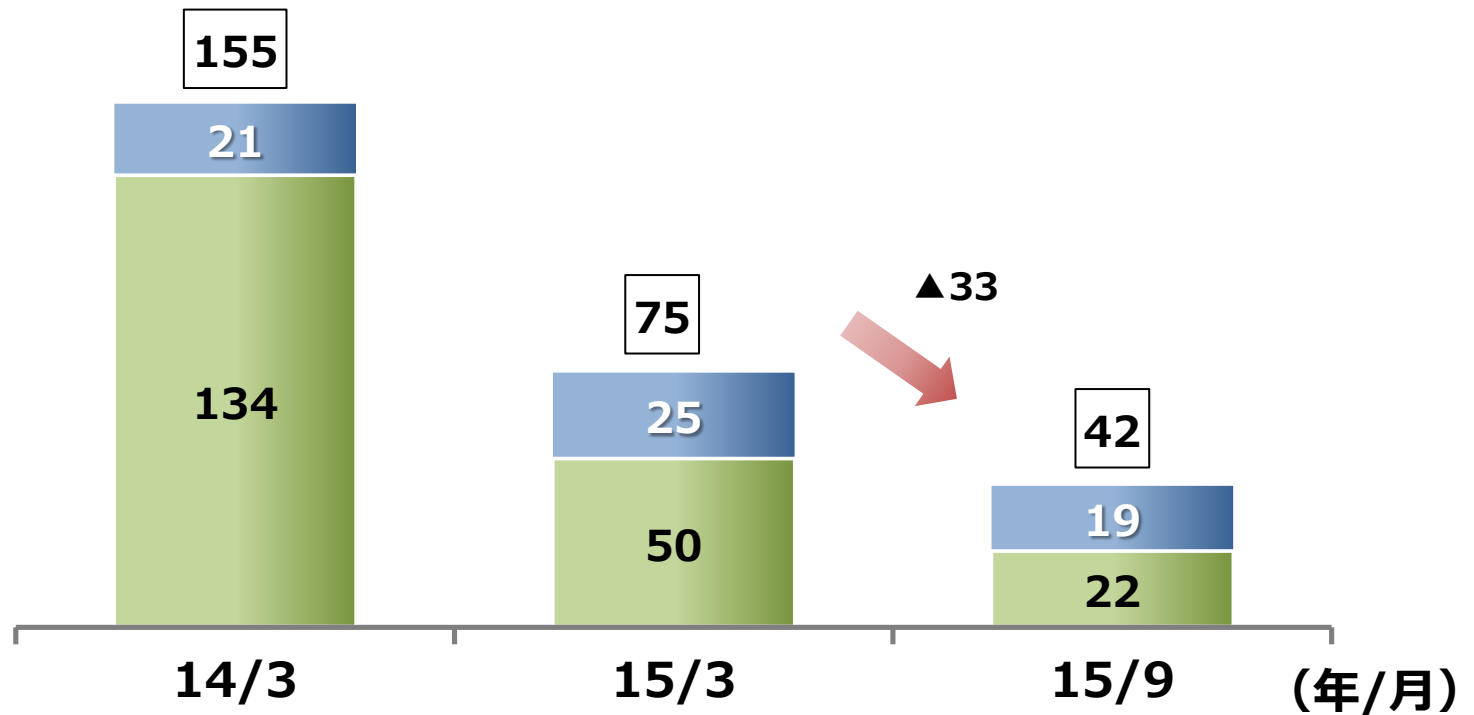
■ 長期借入金 ■ 社債 ■ 短期借入金



【連結】工事損失引当金の推移

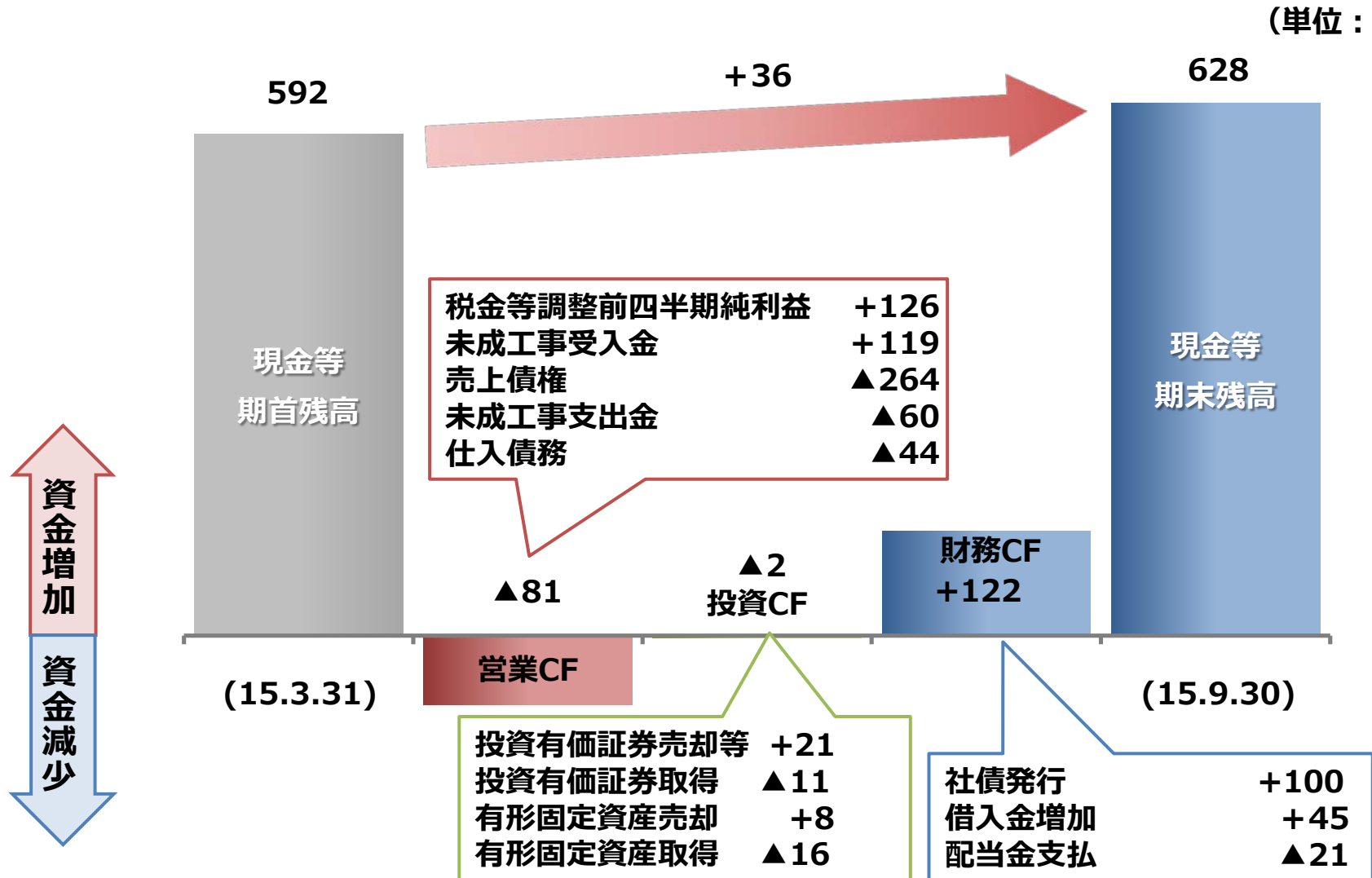
■ 建築 ■ 土木

(単位：億円)



【連結】キャッシュ・フロー

(単位：億円)



1-3. 業績予測

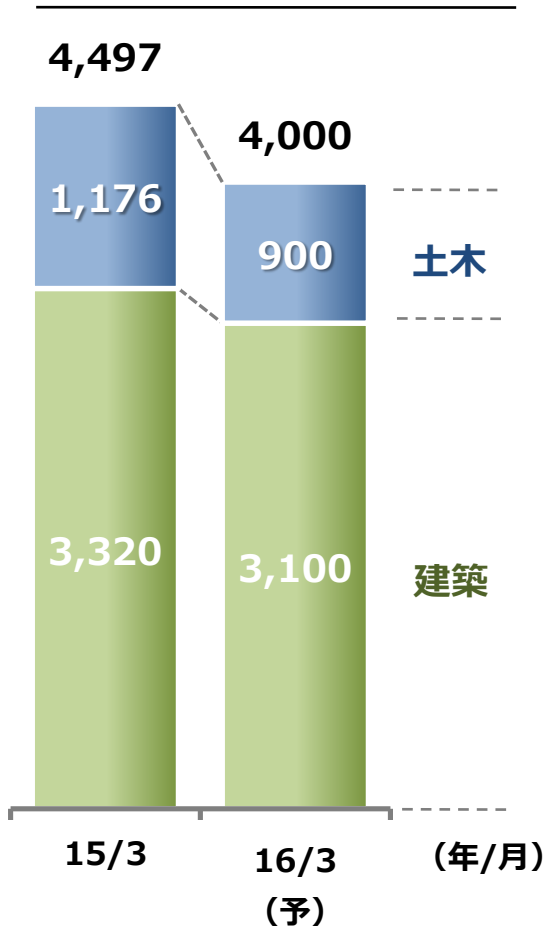
2016年3月期 決算予測

単位：億円	2015/3期	2016/3期		
		予 測	前期との差	
連結売上高	4,203	4,960	756	18.0%
営業利益	129	191	61	47.2%
経常利益	148	210	61	41.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	140	188	47	34.0%
建設受注高 (個別)	4,497	4,000	▲497	▲11.1%
年間配当金 (円)	7	9	2	-

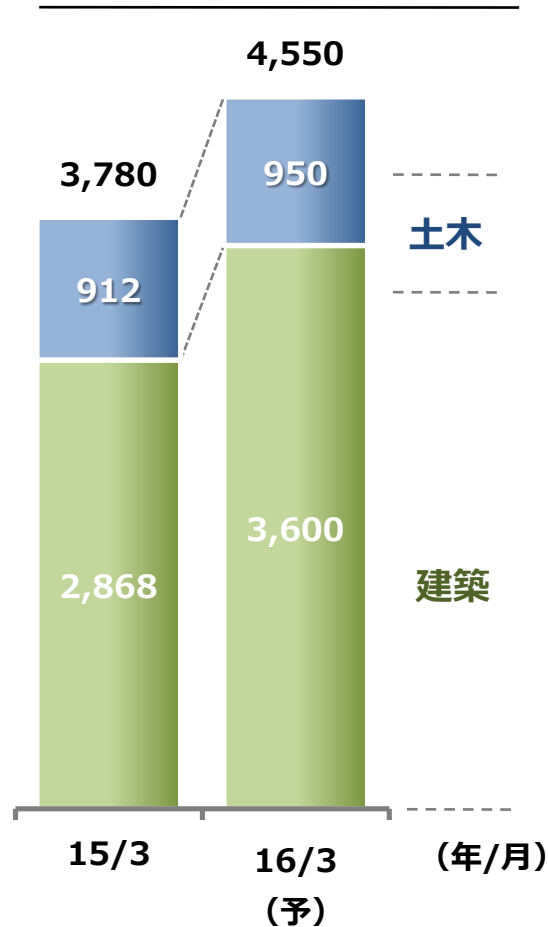
【個別】建設事業の業績予測

(単位：億円)

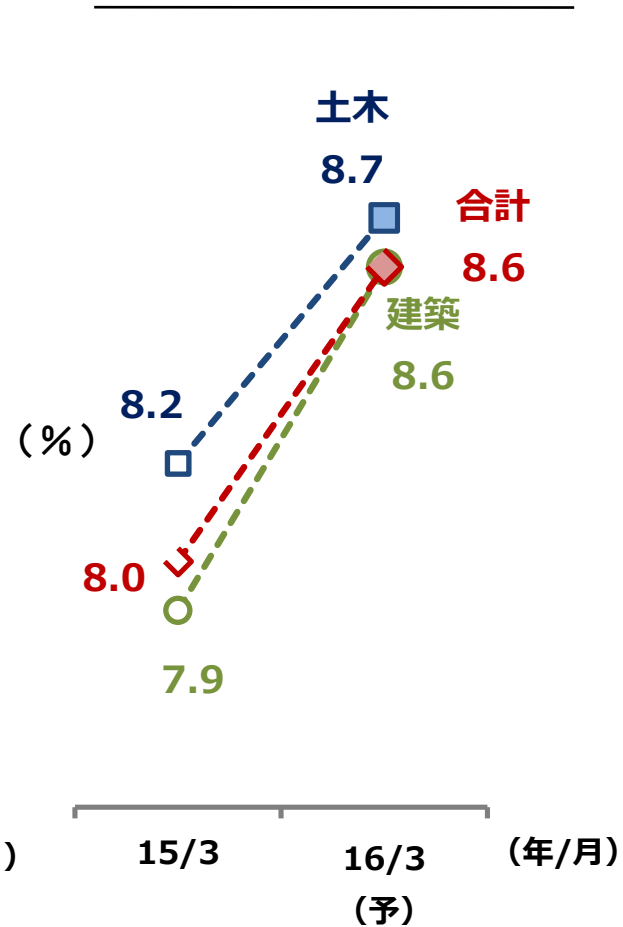
建設受注高



完成工事高



完成工事利益率



2016年3月期 個別業績の予測

	金額 (億円)	利益率 (%)
売上高	4,625	
売上総利益	410	8.9
建設事業 利益	393	8.6
(建築)	(310)	(8.6)
(土木)	(83)	(8.7)
不動産事業等 利益	17	22.7
一般管理費	226	
営業利益	184	4.0
経常利益	201	4.3
当期純利益	180	3.9

2. 経営計画の進捗状況

代表取締役社長 今井 雅則

中期経営計画2017のフォーカス

－ 既成概念の破壊と新価値・システムの創造 －

生産性No.1

ゼネコン業界トップの高い
生産性の確立

成長への基盤

事業領域の拡大と建設との
シナジーの追求

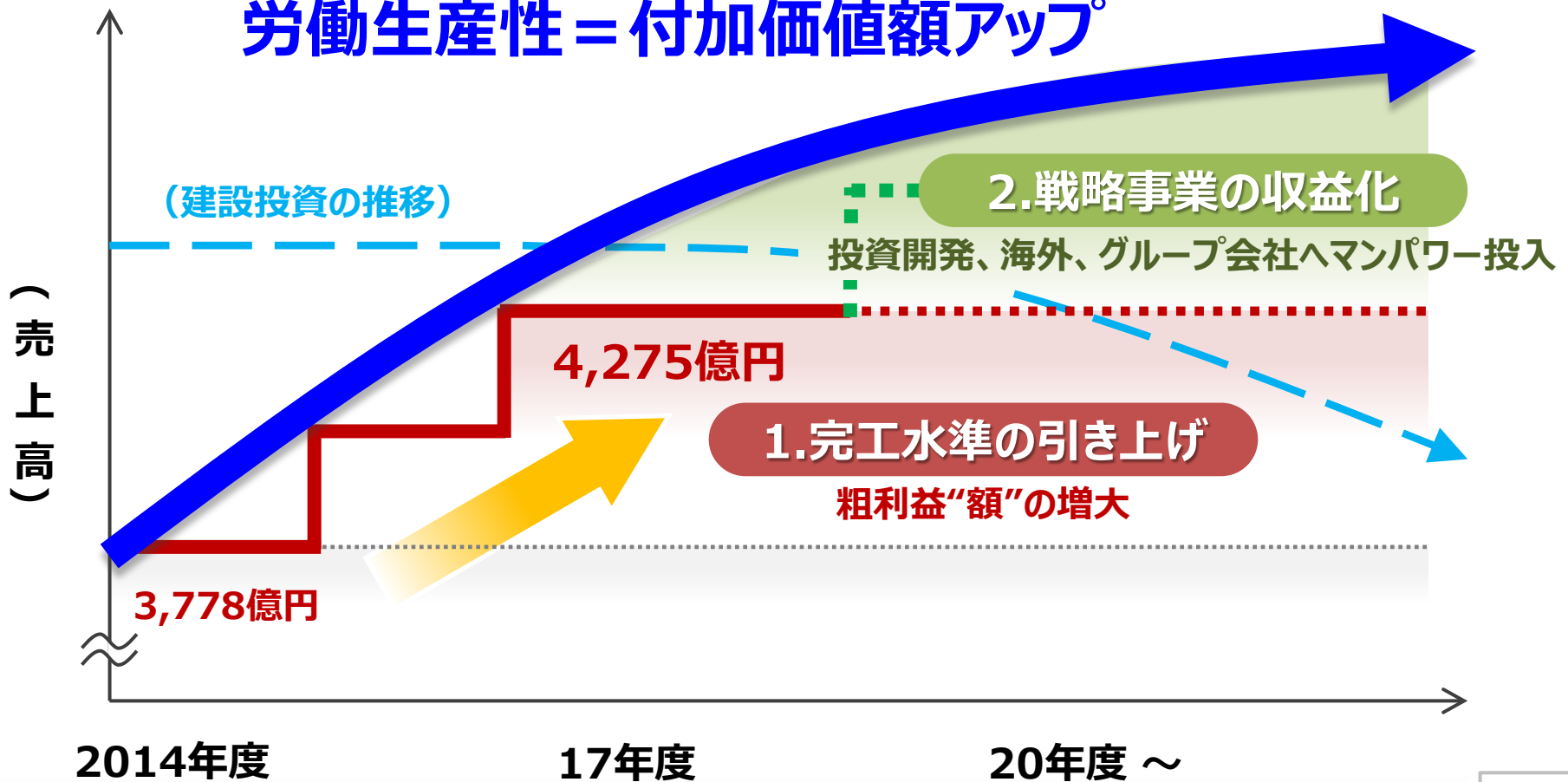
事業戦略の基本概念

堅調な建設投資

投資減少

競争激化

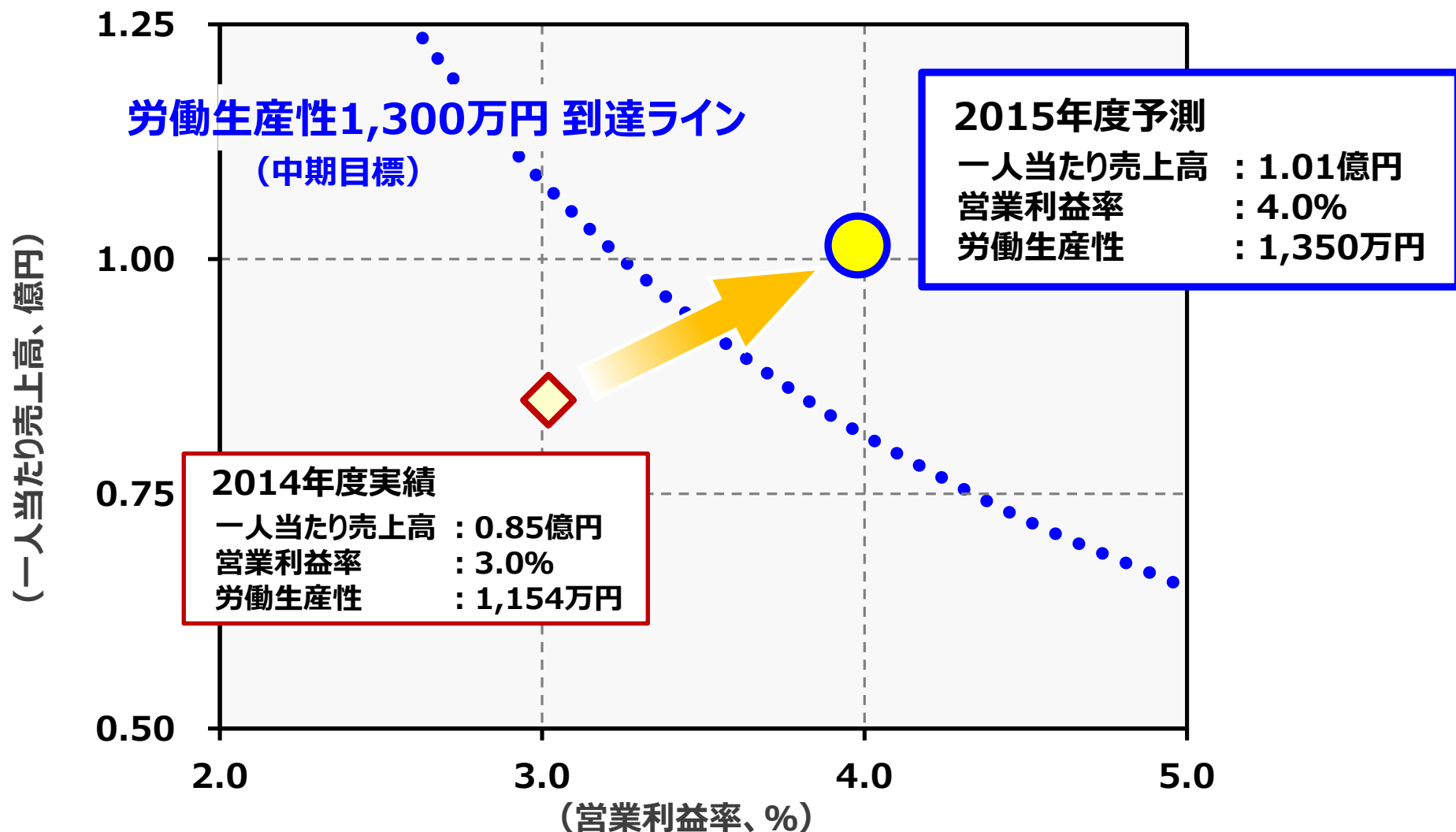
労働生産性 = 付加価値額アップ



2-1. 上半期の取り組み



生産性の取り組み



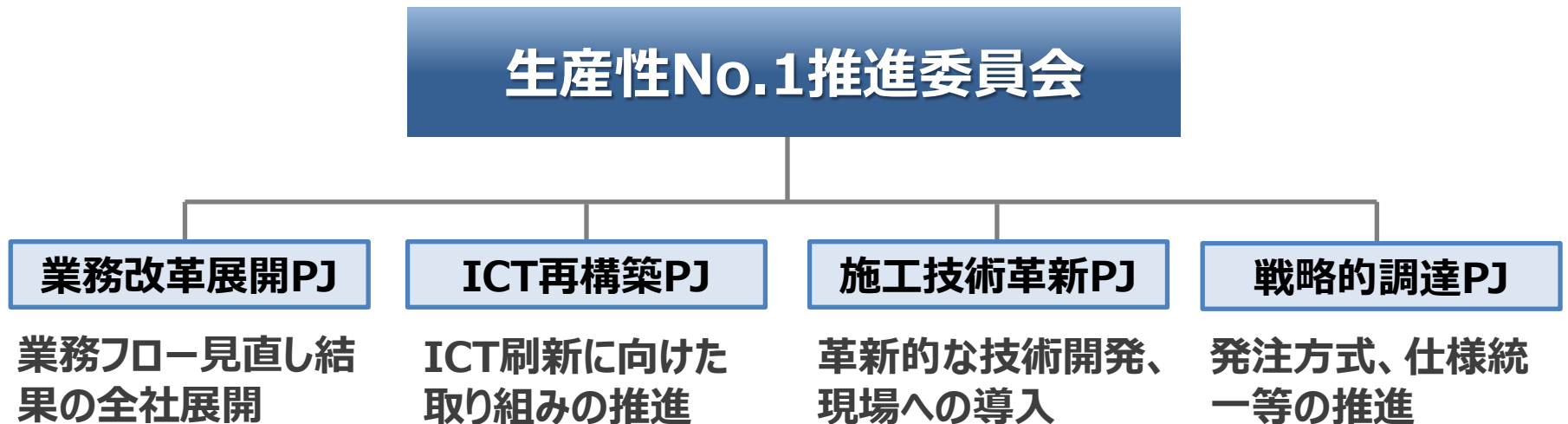
※ 数値は単体ベースとなっている。

※ 労働生産性（付加価値額/人）= 営業利益/人（売上高/人 × 営業利益率）+ 総額人件費/人

生産性No.1推進委員会

業務改革と技術開発の取り組みを推進

- 業務フローの見直し、全社水平展開及び実践
- 新しいICT、施工技術及び調達システムの開発・展開



戦略的投資の取り組み

京橋一丁目東地区再開発

- まちに開かれた、芸術・文化拠点の形成
- 街区再編、防災対応力の強化、環境負荷低減

A街区：2016年度～19年度

B街区（当社本社ビル）

：2021年度～23年度

C街区：2016年度～18年度



本社ビル建替えプロジェクト



本社ビル（B街区）

企業姿勢の発信と 安定収益の確保

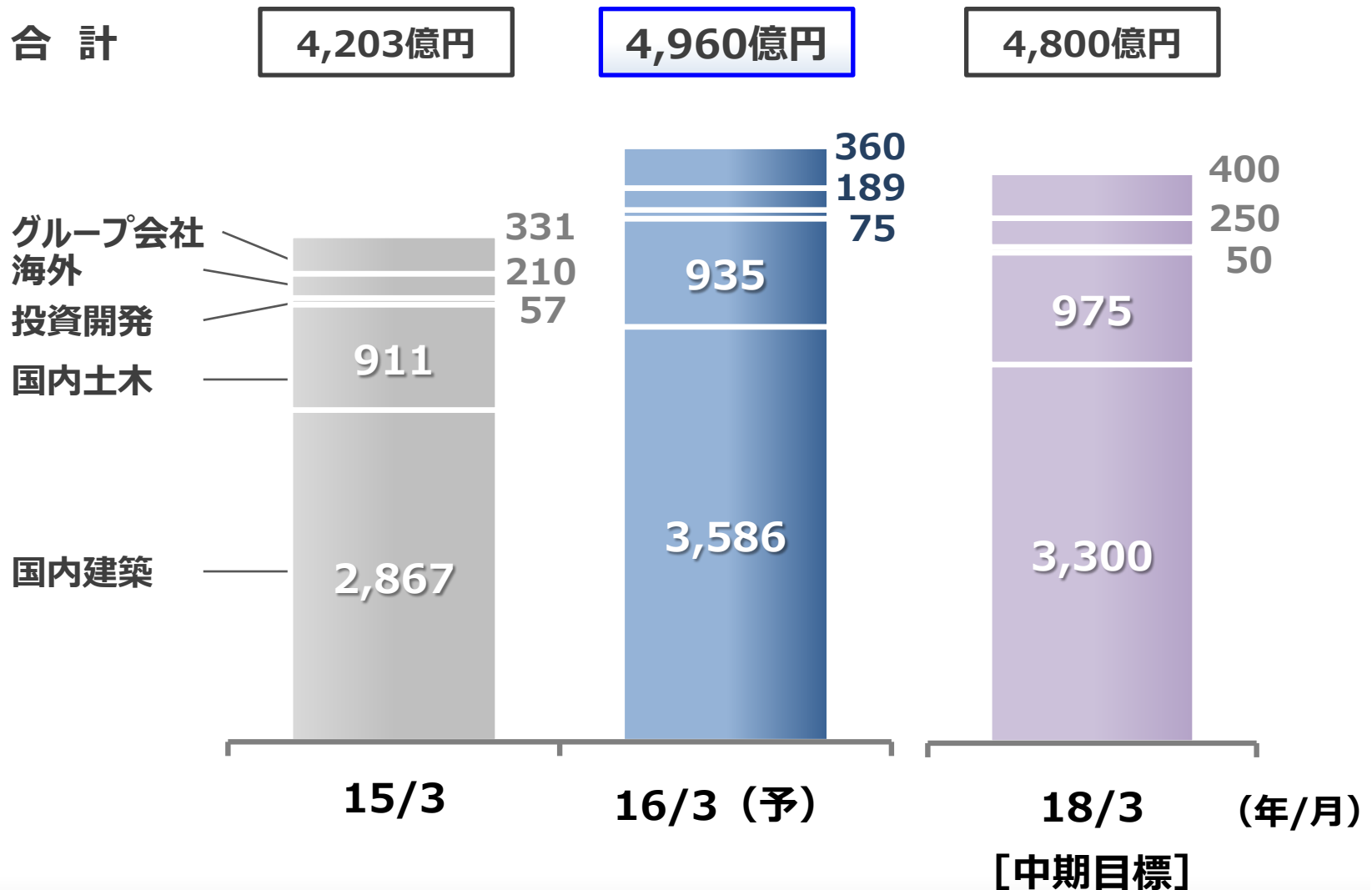
- 技術力の向上と結集
- 社会貢献 ※低層部分
- 竣工後の安定収益確保

用途： 事務所、店舗、文化施設 等
規模： 地上28階、地下3階
GL+173m

2-2. 事業別業績（見通し）



事業別売上高



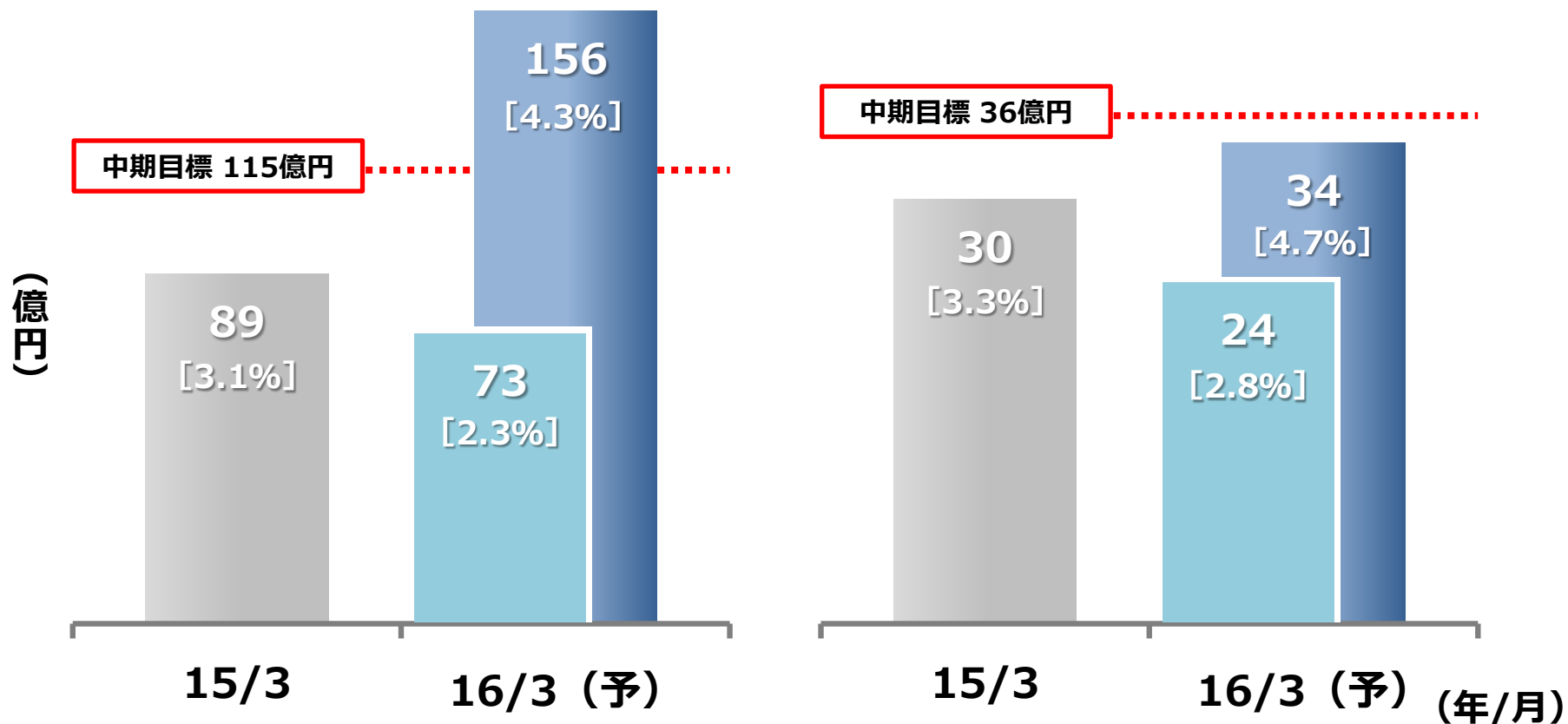
※ 合計には連結消去を含む。

営業利益（国内建設事業）

■ 期初予測
■ 今回予測

国内建築

国内土木



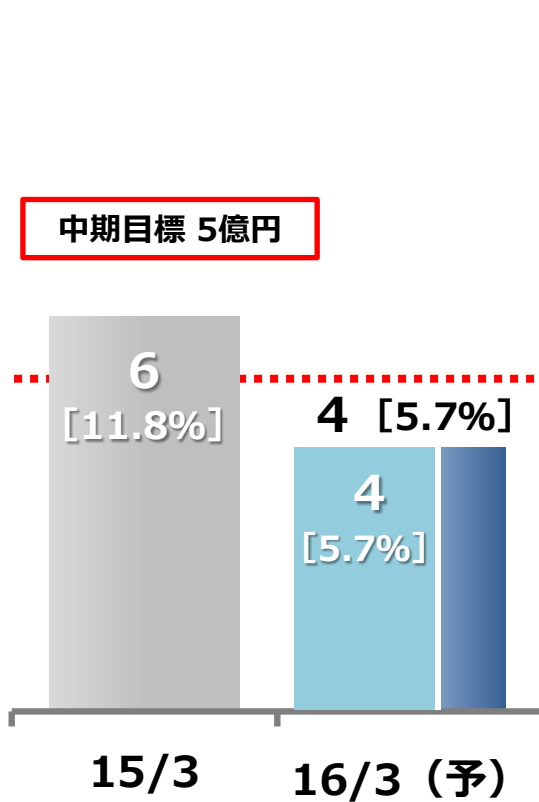
※数値には連結消去を含んでいない。[] は営業利益率。

営業利益（戦略事業）

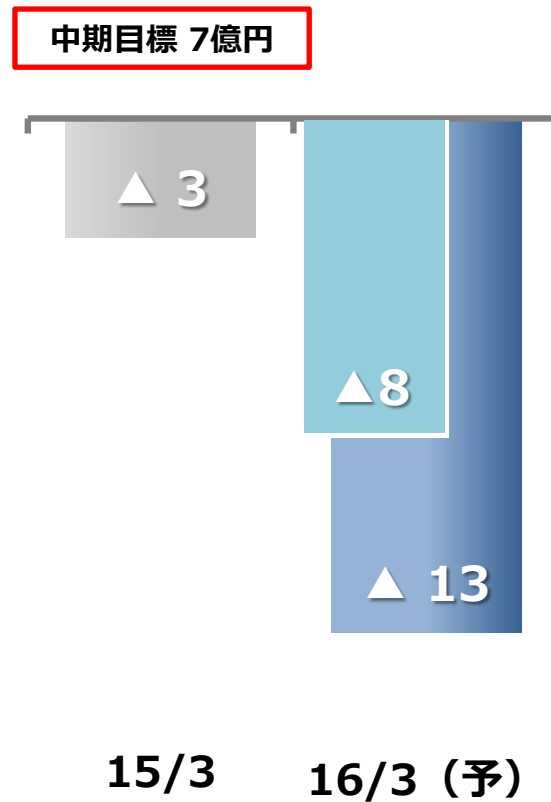
■ 期初予測
■ 今回予測

投資開発

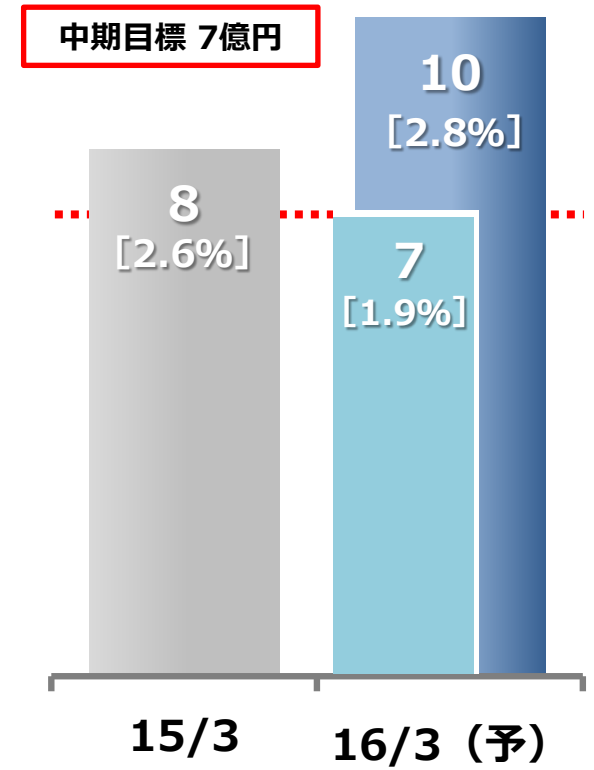
(億円)



海外



グループ会社



(年/月)

※数値には連結消去を含んでいない。 [] は営業利益率。

2-3. 下半期の方針

課題認識と取り組み

生産性の向上を加速、人財基盤を強化

課題

建設投資の見通しに
対する不透明感

戦略事業への取り組み
の更なる強化

生産性の向上

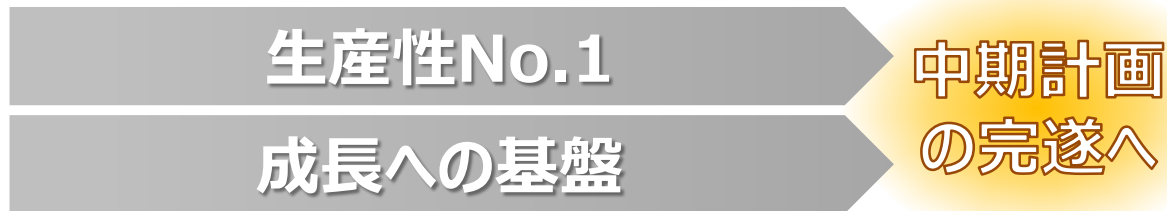
- 収益水準の向上
- 戦略事業へのリソースシフト

人財力の強化

- 自己発働型社員の育成
- 業務成果の適正評価

更なる成長に向けて

成長戦略の具体化に向けた取り組みを推進



何処が強いのか
何を強くするか

「強み」の強化と構築

強靭性No.1

- 強い分野を更に強く
- 強いビジネスモデルを構築

“喜び”を実現する企業グループ



戸田建設